

ふれあい つながり かわら版

ブランドカリキュラムをもとにした 授業実践 (琴陵中ブロック)

本号では、ブランドカリキュラム作成後の活用の中
となる授業実践について、琴陵中ブロックの取組を紹
介します。

ブランドカリキュラムと日々の授業 をつなぐ『授業エキス』

自学力・探究力	自己肯定感	故郷を愛する心
学びに“必然性”を見出し、見通しを持って、主体的に学び、考えを広げたり、深めたりしながら、物事の本質や価値に迫ろうとする力	自他のよさや魅力に目を向けながら、自分自身がかけがえない存在であることに気づき、自分らしく生きようとする力	故郷のよさや伝統、文化に目を向け、愛着をもつとともに、自らが次代の担い手として、未来を豊かに展望し、主体的、能動的に行動しようとする力

“身に付く力”を培うための授業エキス

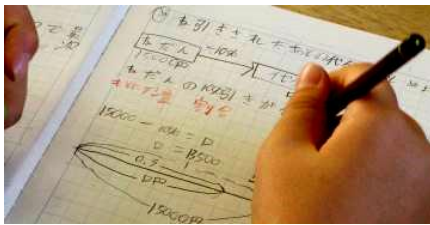
- ◆子供たち自ら取り組みたいような課題の設定 (自分の生活と関連付けた学習内容)
- ◆自学ノートやタブレットを有効に活用し、自ら必要な資料を得るなどして、主体的に取り組める学習の展開
- ◆個人思考を大切に、ペアワーク・グループワークへ発展させる授業展開
- ◆一人一人意見を大切に、お互いに認め合う。
- ◆振り返りを重視し、意味づけ、価値づけのできる授業展開 (頑張れたところ、良かったところの可視化)
- ◆異学年交流の活性化 (小中・小小・学年縦割り)
- ◆地域教材を使った道徳の授業
- ◆人のつながりを通して、それぞれの人の思いや願いへの共感
- ◆愛城会や船場・城西西歩き、姫路城ガイドに挑戦する活動 (わが町にある世界遺産姫路城)

〔琴陵中ブロック授業スタンダード〕より

琴陵中ブロックでは、培いたい「身に付く力」を、「**自学力・探究力**」「**自己肯定感**」「**故郷を愛する心**」と設定し、ブランドカリキュラムを作成しました。

これらの力は日々の授業を通して育成されるため、小中で授業改善を計画的・組織的に進めていくことが大切です。

琴陵中ブロックでは「**琴陵中ブロック授業スタンダード**」を



「身に付く力」を意識した授業実践 (城西小)

する具体的な手立てを「**授業エキス**」(上図)として表し、教職員全体で共有しながら、計画的・組織的な授業改善を図っています。

姫路市教育委員会
学校指導課
小中一貫教育・ICT教育推進係
(079)221-2120

作成し、カリキュラムと日々の授業をつなぐとしていきます。

「**授業スタンダード**」では、「**身に付く力**」を培うために、対応する具体的な手立てを「**授業エキス**」(上図)として表し、教職員全体で共有しながら、計画的・組織的な授業改善を図っています。

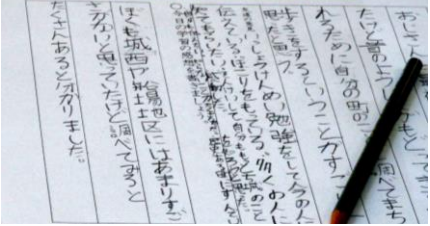
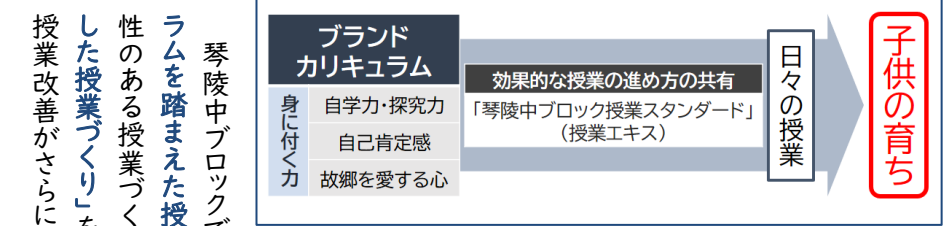
琴陵中ブロックの学習部の先生を対象とした授業参観が12月3日に城西小学校で行われ、4つの授業が公開されました。

5年算数「割合」の学習では、10%引きの代金について、関係図や線分図など自分で方法を決めて解決しようとする姿が見られました。

5年理科「ものどけ方」の学習では、水に砂糖を溶かす活動をグループで行い、自分たちで気づいたことや疑問点から学習課題を設定する姿が見られました。

6年体育「ソフトボール」の学習では、点を取らせない守備の仕方をチームで考え、自分たちの考えを試合で試す姿が見られました。

これらの実践は、「**自学力・探究力**」を意識したものであり、授業



の工夫として「**授業エキス**」が活用されてきました。

6年道徳「ぼくの町」の学習では、地域教材が用いられていました。普段何気なく過ごしている校区の魅力を再発見し、地域に愛着を持つ姿が見られました。この実践は、「**故郷を愛する心**」を意識したものであり、ここでも「**授業エキス**」が活用されてきました。

琴陵中ブロックの「**授業エキス**」のように、ブランドカリキュラムに設定された資質・能力(付けた力)を育成するための**効果的な授業の進め方**を共有することは重要です。

そうすることで、ブランドカリキュラムに配列された単元だけでなく、日々の授業による子供の育ちが期待できるからです。

ブランドカリキュラムの完成後は、**資質・能力(付けた力)**の育成のために、**効果的な授業の進め方**をブランド内で検討・共有してください。日々の授業を通して子供の育ちにつなげることでカリキュラムが意味を持ちます。

琴陵中ブロックでは、今回紹介したような「**カリキュラムを踏まえた授業の日常化**」と、子供にとって必然的な**授業づくり**を研究の2本の柱にしており、今後、授業改善がさらに推進されることが期待されます。